

事業名	給食センター調理機器等更新事業	総事業費	21,433	千円
-----	-----------------	------	--------	----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図		老朽化した調理機器等を更新することにより、安心・安全な給食が提供できる。
事業の実績 と成果	取組内容	老朽化した調理機器等を更新することにより、安心・安全な給食が調理できる調理機器へ整備・更新できた。 高性能断熱食缶（87個）4,263,600円・パススルー冷蔵庫（1台）866,800円、蒸気回転釜5機、和え物回転釜1機 16,302,000円
	成果	学校給食の提供に影響を与えることなく、計画通り機器の更新が行えた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	年次的に更新を行っているが、緊急的な対応が必要になる機器もあることから、随時点検を行い、更新の見直しも必要になっている。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	安心安全な給食を保つ上で衛生管理は重要であることから、調理機器や器具は定期的な更新は必要である。計画に基づき引き続き事業の継続が必要である。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	施設の老朽化が進行していることもあり、厨房機器の配管等、周辺設備も含めた改修が必要となっているが、物価高騰により改修費用も増額が予想される。また、2023年度から再編交付金を活用して、事業を実施することから、事業申請等に日数を要することが予想されるため、日程調整等を業者と連携を密にして行う必要がある。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	学校給食費無償化事業
-----	------------

総事業費	14,972 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図	子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	義務教育期間中の子を2人以上養育している世帯で第2子以降の児童生徒の給食費を補助する。 小学校→301人 13,042,900円 中学校→36人 1,929,060円
	成 果	保護者の経済的負担の軽減を図り、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進することができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特に問題は生じていないが、一方対象とならない1人のみ養育している世帯からの補助に対する要望がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	子どもを産み育てやすいまちづくりを推進する上で、2子目以降の児童を持つ保護者の経済的負担の軽減につながっている。令和5年度からは保護者待望の完全無償化が実施されることとなり期待が高まっている。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	給食費が完全無償化となるため、年度当初に保護者等に十分な説明を行うとともに、給食物資の支払に支障のないように補助金申請事務を速やかに行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	学校給食食材費支援事業
-----	-------------

総事業費	6,031 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図	子育て世代の負担軽減 魅力ある学校給食の提供	
事業の実績 と成果	取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響により高騰した食材費について、西之表市立学校給食センターに補助金を給付する。
	成 果	高騰による増額部分を補助することで、安定的に安心安全な給食の提供ができ、また、増額部分を保護者負担に求めないため、子育て世代の経済的負担の軽減につながった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	給食食材の高騰が続いており、見通しが付きにくく、地場産品の活用等の調整が難しい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	新型コロナウイルス感染症の影響や世界情勢の影響等により、原材料が急激に高騰したことにより給食費での運営ができない状況となる中、保護者等に急な負担を求めることなく運営する事ができた。しかしながら物価高騰はしばらく続くことが予測されることから、給食費の値上げは避けられない状況である。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	事業終了
-----------	------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	小学校施設改修事業	総事業費	25,379 千円
-----	-----------	------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図		児童の施設内での安全を確保する。
事業の実績 と成果	取組内容	設置から何十年と経過し、破損がひどいことから撤去後に取替や新設し早急に対応した。
	成 果	撤去し取替時に機能向上を図ったことで、安全性や衛生面での改善ができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	年々材料費の高騰が続いている。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	老朽化した施設設備等改修は児童の安全確保においては大変重要である。今回は法令に基づき安全を確保するための改修を含め実施した（上西小学校自動火災報知設備設置工事、榕城小学校高圧受電設備（気中開閉器）改修工事）。課題は、多くの学校施設の老朽化は、深刻な問題となっている。学校施設長寿命化計画を策定したが、市全体の施設整備計画との関連から進んでいない状況であり、学校からの要請に応じ緊急性・重要性など優先順を決め応急的な対応となっている。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	令和4年度に引き続き老朽化した施設の改修を行い、小学校施設の充実を図る。
-----------	--------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	ろ過機完成状況

事業名	中学校施設改修事業	総事業費	9,000	千円
-----	-----------	------	-------	----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図	生徒の施設内での安全を確保する		
事業の実績 と成果	取組内容	正門側のブロック塀を撤去しフェンスを設置する。	
	成 果	ブロック塀を撤去することで、生徒や歩行者の安全が確保された。フェンスにすることで開かれた学校となり防犯上の観点から周りの目に触れることで安全が確保できる。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	潮風を受けることで想定より早くフェンスの耐久性に問題が生じる可能性がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	ブロック塀の老朽化に伴い、安全性を確保するためフェンスに取り換える工事を行った。今後の課題としては、すでに設置されているフェンスの老朽化が進んでいるため、今後改修が必要となる。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	令和5年度は予定なし
-----------	------------

【参考資料】	
※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	フェンス完成状況

事業名	修学旅行費助成事業（小学校）	総事業費	1,326 千円
-----	----------------	------	----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施（Do）

事業の意図		経済的負担の軽減につながる
事業の実績 と成果	取組内容	市内小学校の修学旅行対象児童の属する世帯(高度へき地学校に就学する児童の世帯及び要保護・準要保護児童世帯は除く)に対し、1人当たり17,000円の補助を実施した。
	成 果	対象者の経済的負担軽減につながった。高度へき地学校や、要保護・準要保護児童世帯に対する扶助費と同額の補助を行い、公平な義務教育の享受につながった。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事務に遺漏のないように実施する。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	高度へき地対象地域以外の保護者にも、同等の支援を行うことで経済的負担軽減につながっている。

④ 改善（Action）

2023年度方向性	西之表市補助金等交付規則に基づき適正に処理する。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、計画通り修学旅行が実施できることを望む。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	遠距離通学支援事務（小学校）
-----	----------------

総事業費	46 千円
------	-------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施（Do）

事業の意図		保護者の経済的負担の軽減を図る
事業の実績 と成果	取組内容	学校長を通じて交付申請を受け、審査の上、該当者には学校長を通じて補助金の交付を行った。
	成 果	保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学を円滑にした。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	遠距離通学費の支給が遅れることのないよう事務の進捗状況を係内で共有しながら進める。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	年額としての妥当性については検討の余地もあると史料するが、対象児童の属する世帯の経済的負担軽減の一助となっている。

④ 改善（Action）

2023年度方向性	規則に基づき、適正に処理していく。
-----------	-------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	通級援助事務
-----	--------

総事業費	9 千円
------	------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図	経済的負担の軽減を図る	
事業の実績 と成果	取組内容	学校長を通じて交付申請を受け、審査の上、該当者には学校長を通じて補助金の交付を行った。
	成 果	保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学を円滑にした。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	通級援助費の支給が遅れることのないよう事務の進捗状況を係内で共有しながら進める。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	年額としての妥当性については検討の余地もあると史料するが、対象児童の属する世帯の経済的負担軽減の一助となっている。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	西之表市立小中学校通学費補助交付規則に基づき、適正に処理する。
-----------	---------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	就学援助事業（小学校）
-----	-------------

総事業費	11,827 千円
------	-----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施（Do）

事業の意図	経済的な理由により、就学が困難な保護者の負担を軽減する	
事業の実績 と成果	取組内容	要保護及び準要保護児童、特別支援学級に通級する児童について、経済的な理由により就学困難対象と思われる児童の保護者から援助申請を受理。申請の内容を精査し、真に経済的な理由により就学困難と思われるものに係る認定通知を各学校へ送付。学用品費・学校給食費・修学旅行費・医療費等について、支給を行った。
	成 果	保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学を円滑にした。 平成29年度からの取組として、平成30年度の新入学生に対する新入学用品費の入学前支給を実施。令和元年度からの取組として、給食費の現物支給を実施している。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	就学援助費の支給が遅れることのないよう事務の進捗状況を係内で共有しながら進める。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	保護者の経済的負担を軽減を図上で、重要な事業となっている。

④ 改善（Action）

2023年度方向性	西之表市就学援助費支給要綱に基づき適正に処理する。
-----------	---------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	図書館図書整備事業（小学校）	総事業費	1,349 千円
-----	----------------	------	---------------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施（Do）

事業の意図	各学校の図書蔵書数を増やす	
事業の実績 と成果	取組内容	学校にて図書を選定・購入し、予算執行を庶務係にて行う。
	成 果	図書館システムの導入により、蔵書の冊数が確定した。今後図書標準充足率が90%未満の小学校に蔵書を購入していく。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	事務の進捗状況を係内で共有しながら進める。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	充足率達成に必要な事業である。併せて、また、古い図書等も残っていることから整理も含めて重要な事業となっている。

④ 改善（Action）

2023年度方向性	対象となる学校の図書担当者及び司書と連携をとり、予算内において図書購入を進める。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	遠距離通学支援事務（中学校）
-----	----------------

総事業費	69 千円
------	-------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施（Do）

事業の意図		保護者の経済的負担の軽減を図る
事業の実績 と成果	取組内容	学校長を通じて交付申請を受け、審査の上、該当者には学校長を通じて補助金の交付を行った。
	成 果	保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学を円滑にした。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	遠距離通学費の支給が遅れることのないよう事務の進捗状況を係内で共有しながら進める。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	年額としての妥当性については検討の余地もあると思料するが、対象児童の属する世帯の経済的負担軽減の一助となっている。

④ 改善（Action）

2023年度方向性	西之表市立小中学校通学費補助交付規則に基づき、適正に処理する。
-----------	---------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	就学援助事業（中学校）
-----	-------------

総事業費	8,594 千円
------	----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施（Do）

事業の意図	経済的な理由により、就学が困難な保護者の負担を軽減する。	
事業の実績 と成果	取組内容	要保護及び準要保護生徒、特別支援学級に通級する生徒について、経済的な理由により就学困難対象と思われる生徒の保護者から援助申請を受理。申請の内容を精査し、真に経済的な理由により就学困難と思われるものに係る認定通知を各学校へ送付。学用品費・学校給食費・修学旅行費・医療費等について、支給を行った。
	成 果	保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学を円滑にした。 平成29年度からの取組として、平成30年度の新入学生に対する新入学用品費の入学前支給を実施。令和元年度からの取組として、給食費の現物支給を実施している。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	就学援助費の支給が遅れることのないよう事務の進捗状況を係内で共有しながら進める。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	保護者の経済的負担を軽減を図上で、重要な事業となっている。

④ 改善（Action）

2023年度方向性	西之表市就学援助費支給要綱に基づき適正に処理する。
-----------	---------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	西之表市「種子島しおさい留学」里親等支援事業
-----	------------------------

総事業費	15,789 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図		種子島での生活のなかで、豊かな体験活動や小規模校の特色を活かした教育活動を通して、対象児童の生きる力を育む。また、児童数減少等の課題を解決する。
事業の実績と成果	取組内容	留学生の確保に向け、HPでの広報だけでなく、これまでの留学生の出身市町にチラシを配布したり、地域支援課と連携して、ふるさと応援隊からの広報活動を行った。また、留学生が留学を始めてからスムーズに生活ができるように、事前にZoomを使って面談を行った。 各実行委員会に対しては、小規模校の存続のために、必要学年のアンケートを取り、欠学年を埋めたり、複式解消ができるような留学生の配置に心掛けた。
	成果	留学生の意図的な配置により、現和小学校の複式解消、古田小学校の2年ぶりの入学式を開催することができた。 また、事前にZoomでの面談をしていたこともあり、種子島に訪れた際もスムーズにコミュニケーションをとることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	今後、留学生を受け入れていくため各校区の受入態勢を強化していく必要がある。特に応募数に対して受入数が少ない里親留学の里親の掘り起こしが課題となる。 今後も各学校と実行委員会が連携しながら里親、空き家探しを行っていく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	各校区の実行委員会の主体的・積極的な取組や地域の方々の協力により大きな成果を挙げることができた。何よりも留学生が、西之表を第2の古里と思うほどにきめ細やかで温かい対応が地域で見られたことに感謝している。 次年度に向けて、新型コロナウイルス感染症への対応も緩和されていく中で、留学生間の交流などを企画し、さらに西之表での生活が充実するように努めたい。併せて、里親をしてくださる方や、空き家住宅の確保など各校区の実行委員会と連携して進めていきたい。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	今年度は事前の説明を十分に行ったことからスムーズなスタートが切れている。次年度以降も同様に事前説明を綿密に行う予定。また、改善点としては、親子留学に向けた住宅の確保が当面の課題となることから、推進連絡協議会において、次年度を見越した住宅の確保について依頼をしたい。また、留学生同士を結ぶ手立ても講じたい。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
 	ふるさとまなび〜隊参加の様子

事業名	小規模校特認通学制度通学支援事業	総事業費	111千円
① 計画 (Plan)			
長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実	
	基本事業名	教育環境の整備・充実	
② 実施 (Do)			
事業の意図		小規模校の特性や地域の特色を活かした環境の中で、心身の健康増進，体力づくりとともに学ぶ楽しさを身につける。また，児童を確保し，小規模校を存続させ，また複式学級の解消の一助とする。	
事業の実績 と成果	取組内容	大字の各学校が自校の特色をアピールする広報誌を作成し、H Pや幼稚園に配布するなど、複式学級の解消や児童確保に努めることができた。また、新入学生には、入学通知書に特認の案内を同封し、特認通学についての理解を広げることができた。	
	成 果	令和4年度は新規に3人が特認生となり、合計で11名となった。令和4年度からはタクシーによる送迎がなくなったのにも関わらず、前年度よりも実績値が上がったことは、各学校の広報活動や特認生に対する理解が浸透してきている結果だと考える。	
③ 振り返り (Check)			
事業実施上の課題 (事業担当者記入)		大字の学校でも特認生の偏りが大きく見られる。特に市街地から近い上西小学校に偏っているため、市街地から遠い学校においても、更に各学校の魅力を発信し、特認生の獲得を目指すことが課題となる。	
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)		小規模校でのよりきめ細やかな教育活動を望む子どもたちが小規模校特認通学制度を利用し、転入先の学校で生き生きと活動している。複式解消や欠学年回避の目的と併せ、今後も事業を推進していきたい。	
④ 改善 (Action)			
2023年度方向性		しおさい留学生の確保には住宅が必要であるが、特認生に関しては現在の住居から特認校に通うことから、学級減に関わる学校に関しては先を見込んだ広報活動を積極的に行うことを管理職研修会等で呼びかけ、広報のチラシを作成してもらう。	

【参考資料】	
※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	教育用コンピューター導入事業	総事業費	20,624	千円
-----	----------------	------	--------	----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図		(1) 情報教育の充実 (2) 校務の効率向上
事業の実績 と成果	取組内容	主に、校務用パソコン153台の整備を行った。また、その他既存ICT機器の管理も行っている。
	成 果	令和4年度は主に校務用パソコンの一斉更新を実施した。この更新とともに、資産管理運用システムやセンターサーバーの拡充、校内無線LANのセキュリティ強化を行い、学校ICT環境がより一層充実され、校務の効率化が図られた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	令和4年度は主に校務用パソコンの一斉更新を実施した。他市町と同様に業務を遂行できる体制ができてきた。転入してくる教職員にとっては、環境を変えることなく業務遂行ができる。教職員の資質向上にも役立てていきたい。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	・学校HP用のレンタルサーバー使用料の支出 ・各校の既存ICT機器の計画的な修繕 ・学習支援ソフト（eライブラリー）の導入
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	校内通信ネットワーク整備事業	総事業費	4,287	千円
-----	----------------	------	-------	----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	教育環境の整備・充実

② 実施 (Do)

事業の意図		児童生徒がPC端末を活用して個別最適化された学びを行うための基盤整備を行う。
事業の実績 と成果	取組内容	校務用パソコンが無線LAN搭載機器となったことから、職員室でも無線で教科指導用タブレットと校務用パソコンが使用できるよう、アクセスポイントを整備した。
	成 果	これまで校長室及び職員室は、有線LANでの使用しかできなかったが、今回の整備で、場所を選ばずに校務用パソコンを使用することができるようになり、職員研修等がスムーズに実施できるようになった。教育用コンピュータ導入事業で無線LAN接続に係るセキュリティ強化も行っている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	全小中学校に必要なネットワーク通信網を設置できた。児童生徒の学習はもとより、教職員の研修や会議等にも活用でき、業務の効率化も図られる。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	事業終了
-----------	------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明